2770
~18

~ 13
2770
85

へ13
2770

へ13特
2770

富樓那の御口にあら六百年のあの夢の世の夢
もしくはしとも世にたとえ康成そんぞ飛れしかの
宮殿地獄をもとこれぞ世人乃ちからとぬらう
ずのもとの舞楽とてひとつの八十王も黄泉の
三途の川とかくぞ知られたまへ
ちりぬべきかの高きもの乃ちとそ
雪花ぞ幸の
あれ南度知ひとくねなとちあ
のうとくねさとさとちりぬさ
秋風鳥のあもりのしのしとぬら
きねぬ

たかさゝり　上

一　[illegible]
二　[illegible]
三　[illegible]
四　[illegible]
五　[illegible]
六　[illegible]
七　[illegible]
八　[illegible]
九　[illegible]
十　[illegible]
十一　[illegible]
十二　[illegible]

一　[illegible]

○[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるいとやくんとかいてあり　みだんのものの名ゆ
いかりさんだの業乃二ぢんふまざまあり　まぬか
ことのみなくさ

二　池ちんのさう

○川乃ほとり毎日くく池ちんのゆきもびく
あくんれ地ち付まくるづくふれつ　おだん
かりまくくくくくこの二つのあわのまりこつぼつくれり
けるあよくやぢちんちんりありけるぶあるふわ
やりしみあくくちへ地りちんとの井にずんど
をくうるるものくくりち先よくちの地りしがいぐ
あるりちんはしどろ下にぬくをのとけるける
あ足とあくくゆれくふふのくくちへ地りるふ

みをくくやりいどろのの海よりまりしくくりの
三　ぢくろのくくを
○ゆしあひろりどれるのりぢしぢちよくくりぢれ
けるちよ行れけんのくくよ地むるれひぢしのあとは
いりく付てやとれさうぢんるされ地ちよ所人くも
出りくやゆりハちるひあるりの所人氏付むゆと
ゆくれハ一ぢんはと付やち初てのちしよ探と
うえハゆへさくれぢくと付ゆといよ板くくはれ
くりとうえまりたゆへ場ち月ぶぢくと付ゆ
くたハ柳とうえまりたなるり柳のぢくと付ん
とりハ板くくハとあれいまくれ本と地ゆうあるの
せねゆへくゆも付しの板くくりの車よ付くれ

こありきれば手はの毒毛とたてきんわん
いてまーたとのみえばけだものせんふ町ゆーさうり
しとれれとをきれまーあゆくれあげだーとけー
とふ見いきうくおとーゆーきーふけぶうまとを
とうえんとはまー

はせんあくわざか

○まうたとのほん人とり食わそびろる時表と
いしわを人とゆりきうひとりのとれふうくわの
いちわとうんちりあみうこのかたさりとのみそ
だるのうのさうたちのくひわうりはくふ屋ふう
きくわんとのふうれうるぜまとのくふゆーあけふ
とふおくしとのくふをくをんのうくうれふふれわ

たりあくはおうぎたてまつらんとてまつらんとて
つかはしたまふ　ものがたりあり
　　ふるまひ　ばくろんかい　すいのもの
○あらぜんより十かとしまつりさぶらひけり
げること　九日　ならひとりとりあつかふ　すいこ
あつまりとれあげうれ　ふるい　ばくと　ばりひ
れうく　ゆり　先　高へ　もさ　ものよ　くいとひ
ふうけ　あ　ふ　ものあ　ばすたる
うんあ　くひ　ひけ　ふ　へ　ばりく　びつ　ぶと　ま
かのさ　ふ　れ　ま　ふ　判　ばあり
ばく　わりげ　ゆ　り　ゆ　ま　へ　り　田　ば　と
ういどう　ひ　ま　ま　ば　く

ものくくあくべりてあそぶ　ものくく　ばかり
ものくさけの　ものひまうど　れよたるいるく　ばかりく
ばくまるれ　ものてい　ものふ　ばよ　ひあ　ものへ
わりうんれ　ばたるひる　ものて　いしわり　りとうま　ばい
ば判　くけるり　ものくわり　ものくら　ものと　ばば
ばば　ばえ　ばけうん　ばあり　ばへと　り　ばあり　みな
くく　ばば　ばりく　ばの十か　月と　ばあり　ばて
われ　ばば十　ばのふ　ばん　ばあり　ばく　ばた
ばば　くく　ばい　ばれ　ばと　ばて　ばば　ばと十　ばば　ばば
ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば
ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば
ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば　ばば

六　ゆいものでらげもと

○そのさるもえぬとたそさうものようあるまつた
はかりとあるうどんやるまのひようとるぜんとおもとはげ
ちさんたそさうものせつらんへもりけるるねこそもと
はげ〳〵しれるすちさいかりと所やたらるをへゆるる
かりふるめとはるねそうるをさあいすげしわと
てるあれとをふみなげそうふいようとるそねぐらすま
ちさとらまれくみる〳〵ひをあせ屋ものでく赤ほり
ものよゆたんるのたさぬなとひりをふまるあんがく
るんすげでちされをそでらのるさあげとをへはんてい
しめの四へとうんてくみるくらるゆるまひの人うもい
ところるの〳〵うげたりるそのりめやちるるまひとつるんる

七　やまの奥ものつぶて

○祇園をよしつぐといはるるやうなれば
奥をうて移れかりて
人をそのまゝにえ見ぬ世とわろ
とをとせをもしおのおのね着あり
をれすの世日
をれすのめ〜げをりうそ人乃ちよ行ろりそろ
年月かりそれをいこたれ
をやひかりふ火と吹ちうもりとかりをれ
せうしるるうるかまあうすをく世をんゆく
らすをの志ふ行ら行ゆけあおをくと行うも
とまりよ行日ろをくわりたくふ行らじふ八のわをを
ふいろ行のようず金をの行ふまれるがあり〜ゆれ行をと

ゆをくゆり書ちろげへをらくまをゆをくゆ
ゆうらゆしをうをうをくゆをげたろとのゆ
ろげんをろひをくをゆをるをゆをとゆをくをゆふ
ゆをひをゆをりたをげたををまの金行をを
ろうををくゆをゆ行ゆ一ゆををんををとう
行ゆゆ出ゆを行ゆをくゆをゆふ行ゆふゆをゆをゆる金げ
金行をうをんをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆ
ろうをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆ
をゆをのをゆ橋所いをゆ所をゆをゆをゆをゆをゆをゆ
ゆをげゆふゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆを
ゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆ
をゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆをゆを

八ゝらんぢいの糸びん

○かさ西今のうりこれはとうこのようけまりくゑん
めわらふ糸びんはとりゆゝ西と花いこと色ゝうゝ毛
ほんとうりゑもとくゝいろうまりくとくをうすれアけうこと
おもしろかれ百しゝ合とくゝうゝ河ともあくゝやとく

みのくにのくらびけとまうせしゆくすいをれ
きるこのこまたんのこと申ゆりわりくるとぶせくとあり
りれハ八ツ家ようけいまくとうみくくみるくはくとを
まくをといはいをれいみるとうちびとのこうをれ
られまくてもいかやめをとれやこるやうりくとやまう
九　北ぞうのねけく
○濃まををみをむをうをまを八分の能ろくるん
はんらぞいあくくをまうはゆくいちうをくくをせんく
んよりしてをの門おい市とをの一ふくの賣のめをれやさ
まいをもおろうあくををりれ町ゆもけうをとう
らをのくおをひをうを合をとををけかりみを
ぶのりをと淡合ををうをうをうをうをうをうをうをう

きをけんをれをふぐをくをくひふをくて郎ゆくをて町人合四二人
ひをくをけうをひをくをうをうのあををうのあををふをひを
ををんをけぞうををりくをけをりをわんをを爰
をうりをくをくをぐをうをゆんををををくゆをくをれを
ををへハあへをりをくをぐをのををけるををりを町
ゆハををんをゆりをのをちをうをくを町ゆをくをのををんをや
うををくををゆをくををうをををををれをを町ゆ
をいをををををうをんをををを弾ゆを地ををせをを
を赤ゆをくを刺をうをゆをくを地をくをけをるをうをゆをくを
くをうをゆをあをを地の四ゆををををうをををんをゆをすハ
ゆをくをりををゆをををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるそのはれものゝ下さいれとやきれば地をしけるとて
はるさいれん金をおろすのあくいるのゝわるばのれば
ひりのゝのりのゝなりゝみるを六葉わどや

十　まひとりのわんど

○あるゝ人女わりにあくゝとせくゝ三人より合く
えりゝなどゝく来しにあわりたをつれたゝど
きれかていあるゝてゝひとてゝのあわりゝ
われむゝどざるゝゆゝよゝあくゝのれざゝとれよ
どゝりくゝ月よきつゝねゝづゝまゝすゝりわれゝ
まゝるゝひゝるゝのゝきゝれゝあゝらゝゆゝと成ゝとゝゝや
春月ひゝぶんゝとゝあゝまゝふゝあゝゝいゝゝれゝ

十一　ゝるゝゝゝれゝのゝりゝ

○大男ゝるれゝゝゝゆゝくゝとゝびゝけゝりゝよゝゝゝうゝれゝなゝど
けゝるゝゝゝゝゝゝんゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

たひとりくみしてば[illegible]

[illegible]

わくみくかはまつ[illegible]

やうまとをんなくるれ[illegible]

[illegible]

あふさまのせくく一首

みな人のあとをとゝゆるすんたれでこ

ゝろよせくくこれハとゝろこそそんやうとゝのこゝろ

十二　ねさへ人のいけるひとこゝ

○さる五人ねさへ人ゝ[illegible]

[illegible]

人のもとにまゐりてあぶらうりあるいとはうり
ときのぜんにはいかうあるものはうりあるものはうりあるものは
うりそうそうあるものはうりまづあるものはうりくく
はいかうとぬるものはうりくくおのれあるひは
ひとりはいかにかれはいかにかれはどうくにあわせじやお
のれもうんでわらはうんあんせよ
ものくわんらとものくわんらとものくわんらとものくわんらと
ものくわんらとものくわんらとものくわんらとものくわんらと
ものくわんらとものくわんらとものくわんらとものくわんらと